

带状疱疹予防接種について

带状疱疹の発症及び重症化予防、接種費用負担軽減を目的に予防接種費用の一部を助成します。

1. 带状疱疹とは

原因	水痘・带状疱疹ウイルスの感染によるものです。水痘に感染した際のウイルスが長期間体内に潜伏し、加齢や疲労、ストレス等がきっかけで再び活動、増殖して発症します。
症状	水ぶくれを伴う赤い発疹が体の左右どちらかに帯状に広がり、強い痛みを伴うことが多く、症状は3～4週間ほど続きます。皮膚症状治癒後も、带状疱疹後神経痛が長期間に続くことがあります。
傾向	80歳までに3人に1人が带状疱疹を経験するとされ、50歳以上では带状疱疹を発症した人の2割程度が、带状疱疹後神経痛に移行するとされています。

2. 带状疱疹の予防接種について

現在、带状疱疹の予防接種は、二種類あり、医療機関によって、取り扱うワクチンが異なります。ワクチンには、それぞれ特徴があり、現在治療中の方や体調等により、ご希望のワクチンを接種できない可能性があります。接種する際には、主治医や接種先の医師とご相談し、接種をお願いいたします。

一般名	带状疱疹ワクチン	水痘ワクチン
対象年齢	50歳以上	50歳以上
接種回数／方法	2回／筋肉内注射 〈2回目接種について〉 ・接種間隔：1回目接種から2～6か月後まで ・使用ワクチン：1回目と同じもの	1回／皮下注射 ・免疫不全の方は接種出来ません。 ・接種後、他の生ワクチンの接種には、27日以上の間隔をあける必要があります。
副反応	・注射部位の痛み、腫れ、発赤、筋肉痛、全身倦怠感、悪寒、発熱。 ・非常にまれにアナフィラキシーなど重篤な副反応が現れることがあります。	・注射部位の痛み、腫れ、発赤。 ・非常にまれにアナフィラキシーや血小板減少性紫斑病など重篤な副反応が現れることがあります。
助成額	1回につき10,000円	5,000円
予防接種費用（目安） ※医療機関によって異なります	1回20,000～25,000円程度	8,000～10,000円程度
自己負担額	予防接種費用から助成額を差し引いた金額をお支払ください。 ※带状疱疹ワクチン、水痘ワクチン共に高価なワクチンで、町からの助成額を差し引いても、自己負担額は高額になりますので、ご承知おきください。	
	1万円～1万5千円程度	3千円～5千円
带状疱疹発生・带状疱疹後神経痛抑制効果	90～95%以上	50～60%
持続期間	9年以上	5～8年程度

参考：厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会資料、取り扱い説明書

3. 注意事項

- ・申請日から3か月以内を目安に、配布した予診票を持参し、医療機関を受診してください。
- ・带状疱疹ワクチンを接種する場合、2回目は1回目から2～6か月後までに接種を実施してください。
2回目が1回目接種から6か月を過ぎた場合は、助成の対象ではありませんので、ご注意ください。

例) 1回目が4月1日の場合、2回目は9月30日まで ※10月 1日は不可 (6か月後の同日は不可)

- ・使用しなかった予診票は破棄してください。